

**令和 7 年度
地産地消に関するアンケート結果**

～資料編～

**2026年（令和8年）1月
藤沢市**

(26) このアンケート及び「地産地消」についてのご意見等がありましたらお聞かせください。

【1 藤沢ブランドの創出】

(1) 一次產品の創出

- ・藤沢市の特有の特產物をもっと作ってほしいです。
- ・昨年、愛媛からこの地に移転し、藤沢で生産されているものを知らずに過ごしていましたが、一年過ぎてトマト、柿、いちごなど季節に応じたものが生産されていることを知りました。藤沢！といえば連想できるものが何かイメージできるようにしていただけましたら嬉しいですし、他県にも送りたいと思っております。
- ・全国的に有名な農產物をつくり、ブランド力を高めれば、地域での消費が増えるかと。地域外にも消費が増える可能性もあるかも。
- ・青森県八戸市といえばイカ、サバ、福島県福島市といえば桃のように、藤沢市といえば・・・というような農水產物があると、より親しみやすくより知名度が上がるのかと考えました。

(2) 加工品等の開発

- ・冷凍食品のように調理済みのものだと扱いやすいかなと思います。
- ・乾麵などもあつたら手土産にも重宝するのでぜひお願ひします。
- ・新しい加工・産出品の創出も良いことと思うが、昔からある味が受け継がれていけない現状があることも知ってほしい。

(3) その他

- ・多くの地域には特產品がありますが、藤沢市に特產品があるのか知りません。
- ・藤沢産の名產品として釜揚げシラス、湘南ゴールド、ブドウ等々があります。いずれも知名度が低い点が難点だと思い、認知度を上げていただきたいです。
- ・藤沢市に住んでいますが、「鎌倉野菜」の方がよく耳にします。
- ・ブランド化などができるといいが、市単位では狭すぎて難しいかもしれない。
- ・“湘南ブランド”と言われるが好まなければ購入しなくなる。
- ・江の島にたくさん人が観光しに来るので、その観光地でより藤沢産の食材を使用したメニューを増やしてほしいです。
- ・長後にはケーキ屋さんがないので、何か人気になるデザートができたら少しは人が来てくれるかなと期待したい。
- ・食糧自給率の向上につながるものには集中的に予算をつけて他の府県からも注目されるレベルの製品を育てる。

【2 給食供給強化】

(1) 給食における藤沢産農水産物の利用促進

- ・中学校給食で藤沢産のものを多く取り入れ、給食を現在の選択制から全員が同じものを食べられるように改善してほしい。
- ・市内の学校給食などで積極的に藤沢産の食材を使用し、そのことをアピールする。
- ・子育て世代としては、学校給食に多く活用してほしいと思うとともに、より多く地産地消を促進させることは地元民としても非常に大切だと感じています。
- ・子供の学校給食の献立に藤沢産の食材が使用されているととても安心感があります。これからももっと増やしてほしいです。
- ・給食でもっと藤沢でとれたもの出すのが一番簡単で良いと思った。
- ・生産者とシェフとのコラボで地産地消の学校給食を進められたらよい。
- ・非常に厳しい昨今ですが、地元産の食材を口にできることはありがたく思います。特に私は学校給食で食べていたので、地域との繋がりを感じております。
- ・学校給食では早急に取り入れていただきたい。
- ・学校給食での藤沢ランチなどで積極的に地産地消に向けて働いてくれていると思います。
- ・もっと学校給食での藤沢産農産物を増やすべきです。パンや小麦類などの食事が多いので、藤沢産の米や農産物を使った給食が提供される機会が増やすべきだと強く思います。

(2) 学校教育での食育

- ・若い年齢層（学生など）に地産地消についての知識を知ってもらうといいと思いました。高校生の頃藤沢産の食材を使ったアイディアレシピを考える企画に参加したことがあり、地産地消における重要なきっかけになるのではないかと感じました。
- ・未来の世代に地元の農水産業を知ってもらうためには学校での現場見学、体験が効果的だと思う。協力してくれる事業所を役所のほうから働きかけて増やしていけたら子どもたちにとっても豊かな経験になるだろう。
- ・小・中学生を対象に「地産地消」のポスター展を行うのも啓蒙活動になるのでは。
- ・地産地消を促し、地域の産業を盛り立てるきっかけに小学生・中学生（高校生・大学生も？）の職業体験の機会がもっとあつたらと思います。
- ・地産地消の復興のため農家の方々と小学校の児童との交流を増やして子供への教育を通して深めてほしい。
- ・未来を担う子どもたちに生産の現場を見学・体験する機会を学校教育の一環に取り入れることで、こういう考え方がスタンダードになるので行政にぜひ取り組んでいただきたいところです。子どもたちを通して親の意識にも影響があり、そういう子どもたちが大人になって次世代を担っていくので、とても大事な事業だと思います。

・自身が小学生の時に地産地消を学び、そこから意識するようになったと感じます！給食もその内の楽しみでした。小さい頃に学んだことは、今になっても覚えているため、義務教育において地産地消を学ぶことが重要であると示唆します。

【3 普及啓発】

(1) イベント・講座の開催

- ・全国的には地産地消推進事業の一環として高校生向け料理レシピコンテストなどがあると聞くので藤沢市でも地元生産物のアピールの機会として実施してみるのもよいのではないかと思った。
- ・地域ごとに地産品を利用した料理講習会を四季ごとに行うようなことをしたらいかがでしょうか？
- ・給食試食会のようなイベントを開催し、市民に提供し、地元の食材の美味しさを知ってもらうきっかけになるのでは。
- ・地域イベント、学校給食を基本に多くの地産地消を目的に食材を活用すれば親は必然的に買うようになる。
- ・そもそも地産地消食材を目にする機会が全くないので駅の中や駅前で地産地消フェアやイベントなどを開いてほしい。仮に開いていたとしても分かりにくいで、もっと目立つようにしてほしい。
- ・私が思うにイベントを開いても若い人はあまり来ないのかなと思う。
- ・市民祭りなどの場でブースを出して広報するのも一案かと思います。
- ・地産地消が根づくには、若い世代、子育て世代の共感が大切だと思います。市民祭りなどの場でブースを出して広報するのも一案かと思います。
- ・地産地消レストラン開業応援
- ・地産地消イベント開催
- ・「地産地消 day」の制定をご提案いたします。月に一度、スーパーや駅前などお買い物のしやすい場所で地元の新鮮な野菜や特産品を集中的に販売する日を設けるというものです。この取り組みにより、お忙しい方でも地元の旬の味を買いややすくなり、生産者の方々を応援することにも繋がると思います。
- ・コロナ禍前に地域の地引網に家族で参加したときに、藤沢の良さを知り、一度だけの体験でしたが今も楽しかったなど良い思い出です。藤沢産の食べ物も実際にどのように作られ、収穫されて、店頭に並んでいるのか体験できたら、より購買意欲が湧くのではと思います。その際誰でも参加でき、無料とか予約なしで行けたら、その後長く“藤沢産”のものを手に取る人が増えるのではないかと思います。
- ・散歩している時に、家の門先に‘地産地消’ののぼりを見て、その言葉を知りました。目に触れたり、体験したりすることは興味関心に繋がると思いますので販売だけに力を入れる

のではなく、五感に触れるような機会があるといいのではないかと感じました。また色々広めるにあたり IT 技術を活用するのも良いのですが、IT を使いこなせない世代にも優しい藤沢市であって欲しいです。

- ・収穫体験などイベントがあればすこし足を伸ばしてこんなところからは畠がこんなあるんだと発見にもなる。
- ・時々スーパーの入口で試食コーナーのイベントがあるので、そのようなイベントがあるともっと知つてもらえたり、購入者が増えると思います。
- ・よくショッピングモールなどで見かける物産展のように、藤沢物産展を定期的に開催したり、藤沢産食材の試食会等を広く行い良さを知つてもらうのも良いかもしれません。
- ・海浜公園で野菜等のイベントでよく見かけます。どんどんイベント等で PR や出店を続けていくといいと思います。

（2）藤沢産農水産物の表示

- ・あまりスーパーなどで「藤沢産の表示」は見たことが少ない。（野菜・魚他）
- ・（藤沢産の）マークを初めて見たため、意識して探そうと思います。
- ・藤沢産の農水産物がそれほど目に入らなかったので、これからは気にしてみようと思います。
- ・スーパーなどで生産者名は見かけたことはあるが、ロゴマークは記憶から消えている。
- ・ロゴについては初めて知りました。スーパーには割と行くのでそのロゴが少ないので、目立っていないかどちらかだと思います。
- ・藤沢産のロゴマーク、もう少しアピール度を高く、少しばかり色味がボケてませんか？
- ・駅や店頭でこれが藤沢産です！などのポスターがあつたら嬉しいです。
- ・藤沢産であることが分かる商品表示ロゴマークを大きく添付する。
- ・旬のものがスーパー・コンビニで藤沢産として分かるように選べてあると買いやすいと思います。
- ・もっと藤沢産とかを店頭でアピールし、量的にも増やして気軽に手に取れるように価格なども低めにしていただけたらと思います。
- ・地元産の農水産物があれば積極的に利用していきたいと思いますので、スーパーや飲食店での表示をわかりやすくしてもらえるとありがたいです。
- ・より若い世代の時には、興味を持ち店頭での表示に注意していました。今は手軽な方に向かってします。（買いやすく、持ち帰りしやすし、料理がしやすいうような）
- ・地産地消という言葉は知っているし、地元産物を応援したいが、実際買い物する際に意識していない。もっと目立つアピールをして地元野菜、産物のコーナーをあちこちに設けるなど普段から目に入る取り組みをしていただけると良いと思う。
- ・ただの主婦でも気が付くようにもう少しアピールしてもらえば良いかなと思います。

- ・野菜類、水産物類は産地が大きく書かれているので気にして見てます。お肉類はあまり気にしたことがないのですが、なんでかな？これから気を付けて見るようになります。
- ・身近なコンビニ、スーパーで‘産地’がもっと見やすく販売されれば年齢問わず購入する機会が増えると思います。

(3) 量販店等での販売促進

- ・スーパー等やデパ地下などにも置かれていればもっと手に取りやすい。
- ・地産地消の販売店が、市役所ロビー前や指定の店舗しかなく、藤沢地区から遠距離が多く、徒歩や自転車では買い物できていない。可能ならば、大型スーパーなどにも販売網を広げてほしい。遠距離まで味覚を求めて果物や卵、牛乳は買いに行っていない。
- ・スーパーに地場農産物のコーナーがあるところでは、なるべくそこから選ぶようにしているので、わざわざ買いに行かなくても買えるようになれば消費も増えると思う。
- ・多くの人が利用するスーパーなどで販売してもらいたい。
- ・近所のスーパーが積極的に取り組むことを望む。
- ・スーパー内に置かれている方が、選びやすく取りやすい。
- ・直売所がスーパーにもあればどんどん利用したいです。
- ・スーパーが頼りなのでそちらに力を入れたらと思います。
- ・スーパーにも、地元のものを置いてほしいです。
- ・スーパーでの買い物が多いので、扱うスーパーを増やしてほしい。
- ・車での買い物ができない世帯でもスーパー、コンビニ等で扱っていただければ手にすることができる。
- ・少量でもおいしく良質なものを求めたい高齢者（単身）にはコンビニが利用しやすくて良いです。
- ・農水産物は毎日のように購入したいのでコンビニ等で販売してくださると助かります。
- ・スーパーなどのお店で「藤沢産」のコーナーがほしいです。
- ・すでにスーパーなどで藤沢産野菜など販売されているとしたら全然気づいていなかったです。もし、すでに販売しているのならもっと目立つようにコーナーを作ったりすると良いかと思います。
- ・地域の品を増やしてスーパーなどでもコーナーを作つて目に触れるようにしてください。
- ・スーパーなどで藤沢産の農水産物のブースとして紹介した方が良いと思う。
- ・スーパーの野菜売り場で地産地消のものを売るコーナーを作つていただけたとしても買いやすいです。
- ・「地産地消」知らない言葉でした。スーパーなどでももっと目立つディスプレイにしてもらえるといいと思います。

- ・スーパーで買い物をすることが多いため、藤沢産というものをほとんど見かけません。もっと積極的に目立つところに置いてもらえるようにすれば意識が高まり、地産地消につながると思います。
- ・大型スーパーなどに地産地消のコーナーを作ると良いのでは。
- ・トマト、キュウリなど生で食べる野菜は地産し、スーパーでもコーナーを設けて販売してほしい。
- ・市内スーパーに地産地消のものを多く出してほしいです。
- ・各スーパーにも地元産が多く並び、またそれが安価に手に入るようであれば、藤沢産を選びます。
- ・普段買い物するスーパーでは、藤沢市産をあまり見かけない気がします。取り扱うお店が増えること、そして値段も手頃であれば、藤沢市産を買いたく思います。
- ・地産地消については興味があるがスーパーなどではほとんど販売されておらず、購入しても購入できない。果物なんかは遠すぎて買いに行けない。
- ・近くのスーパーに藤沢産の品物が非常に少ない。もっと出品してほしい。北部は果物など見たことがないのでご一考願います。魚は地元のものを見ることがあります。主に江の島・茅ヶ崎、小田原などです。
- ・以前（10年前位だったと思う）フルーツの直売所があり、見てみたらスーパーよりも高かったのでそれ以降直売所で買うよりスーパーで買ったほうが安いので寄って買い物することがなくなりました。スーパーでも藤沢産の袋に入っていることがほとんど見ることがなく、関心がなくなりました。
- ・地元のスーパーなどへ安く流通するルートを作らなければ何をやってもダメ。
- ・藤沢産のぶどう「藤稔」は今年は coop でしか見かけませんでした。ほかのスーパーにも置いてほしいです。今年は3回買うチャンスがありましたが、販売期間が短いので、いろんなお店に置いてほしいです。
- ・近所のスーパーで売っていれば購入を検討しますが、わざわざ地産地消のために遠くの店まで買いに行くことはないです。
- ・地元のスーパーに置けば勝手に消費されていくと思います。
- ・野菜・果物には旬があるため隨時、供給することが難しいので、その点を逆に利用して「旬の〇〇」販売というようにスーパーで販売を展開してほしいと思う。

（4） 購入場所、機会の拡充

- ・道の駅「湘南ちがさき」のようなところがあるといいなと思います。
- ・農水産物に特化した道の駅の検討。
- ・「道の駅」藤沢とか「海の駅」江の島とか「川の駅」下土棚遊水地等を作り、地産地消産物を販売したらどうでしょうか。
- ・藤沢は観光地としても有名なので、北部と南部の交通量の多いところに道の駅を作つて旅行者への農産物の PR と地域住民への地産地消を PR してもよいのではないか。
- ・話題になる大きな道の駅が欲しい。

- ・市のHPにインターネットでの農水産物販売コーナーを常設して買いやすくする。
- ・ネット販売できれば足の悪い人でも買うことができる。
- ・ネット販売ではなく手に取って購入できる場所を増やしていってほしいです。
- ・高齢者なのであまり遠くまで買い物には行きにくいしインターネット販売で購入することはできない。
- ・高齢者でも手軽に手に入るようにしてほしい。
- ・高齢化が進んでいるので荷物運びに苦労されているご老人が増えると考え、宅配・移動販売など増やしたらどうか？
- ・高齢になると買い物に行きにくくなる。巡回車など利用したらどうでしょうか。
- ・もう少し近くに商品を購入できるところがあるといいのですが、年を取るとなかなか買わることができません。
- ・私は一人暮らしになってあまり遠くに買い物へ行くことはできません。近くの所に地産の物が買うことができれば嬉しいです。
- ・わいわい市は一度にいろんな野菜などが見られて好きだが、いつも駐車場が混んでいる。もう少し店舗が増えたり、ショッピングモールなどに定期的に、移動販売のような形であったらとても利用しやすいです。
- ・高齢者が多く住む地域や高齢者住宅などの移動販売を推進し、自らの目で見て選択肢購入する喜びに繋げてもらいたい。
- ・駅付近の便利な所に常設コーナーを定着させるなどの工夫がほしい。
- ・駅前など、人が多く通る場所で定期的に販売すると良いかもしれません。
- ・販売している店が少なすぎて、家から遠いところまでいかなくては買えない。
- ・せっかく藤沢産があるので広く直売所等がないので買えない。
- ・応援したいと思うが販売しているところが少ない。
- ・直売所を増やす。スーパーは広いスペースで置く。入口の外でも良い。（スペースを広く取りやすいから）野菜は毎日入れ替える。スーパーなどに食品を出している農家の人は1日1回何分でも良いので顔を出し、お客様と触れ合う。
- ・いいものがあるはずなのにどこで何を販売されているのかをわからないし、あっても車がないと不便な場所にある。
- ・若者がチャレンジする地産地消の店も出かけるには遠いところが多く、年寄りにはハードルが高すぎ。身近に立ち寄れるところで頑張ってくれるなら大いに応援（というか享受）させてもらえるのだが…
- ・「地産地消」の商品がもっと広くどこでも購入できるようになりますように。また、オフシーズンには、カスカスな売り場になるので、工夫が必要かと思います。
- ・北部が野菜類、南部（海岸）が海産物となっていて、南部では野菜類の直売所が少ないとと思う。

- ・もう少し近くに商品を購入できるところがあるといいのですが、年を取るとなかなか買うことができません。
- ・品数は少ないですか、近くのスーパーに地元の農家の人が出品している野菜があります。水産物はほとんど見たことがありません。地元の野菜はとってもおいしいです。全部もっと身近で購入できるように願います。
- ・農水産物の直売所が近くにあると購入しやすいと思います。
- ・直売所をもっと増設してください。
- ・朝市など直売所があれば良いです。
- ・店が近くにあれば利用したいです。
- ・市場が身近にあったら嬉しいです。
- ・鵠沼（海側）に住んでいると野菜は手に入りません。魚もしらす位です。直売所がほしいです。
- ・少家族などで一束一盛を購入すると残りはどうしても冷蔵庫保存が必要となり、市場を通さず直売店の新鮮なものが日持ちしますので直送店があればと思います。
- ・藤沢市役所前でやっている農作物の販売がその他の場所でもあったらいいなと思いました。
- ・地元の農水産物を安価に、気安く手に入れる場所がほしいです。
- ・各市民センターなどで日を決め直売して頂けたら嬉しいです。特に難あり品など助かります。
- ・善行市民センター内にも藤沢市の農産物直売所設けたらいいと思います。
- ・平塚市にある「あさつゆ広場」のような農産物直売所が辻堂にもあったらいいなと思います。新鮮な野菜の種類が豊富で手頃な価格、手作りスイーツもたくさんありジェラートまであって大人から子供まで楽しめるので花菜ガーデンに行ったら必ず寄ります。（駐車場がもっと広いと嬉しいですが…）
- ・テラスモール前の広場などでも定期的に直売所を設けたり神台公園でマルシェを開催すれば一度に大勢が集まると思います。（以前、神台公園でマルシェが開催された際には沢山の農家さんの話を聞くことができて子供たちもとても楽しそうでしたし、応援したくなりました。）
- ・もっと身近に地元産のものが手に入るチャンスがあれば良いがあまりない。
- ・近所（徒歩圏）に直売所などがあるといいのに思います。
- ・前から地産地消には興味がありました。購入するのにわいわい市場などに行っていましたが、ちょっと遠くいつもという感じではありませんでした。最近は最寄りのスーパーの一角にわいわい市場などに出ているものと同じのものが売られるようになりとても嬉しいです。もっと色々なところで藤沢でとれたものを置いてもらいたら、毎日気軽に買えるのになと思います。農家さんでとれた野菜等は味が濃くとても美味しいです。

- ・我が家では毎週末、秦野の直売所（ふるさと公園内）まで野菜や果物などを買いに行っています。野菜を作っている方々が直接運んでいらっしゃるので本当においしく価格も庶民の味方です。藤沢にもこんな直売所があればいいなと思っています。期間的なマルシェやスーパーの一角ではなく、ここへ行けばいつでもおいしく安心で格安な季節の野菜が手に入るという直売所があつたら嬉しいですし、地産地消にももっとご協力できると思います。
- ・ワカメ・ひじき・シラスがスーパーに置いてないのがとても残念！！海のそばに住んでいながら野菜しか手に入らない。野菜と同じようにスーパーに身近に買うことが出来たら嬉しい。
- ・藤沢駅のイベントスペースにでも出店してくれたら購入しやすい。
- ・せっかく藤沢産があるのに広く直売所等がないので買えない。片瀬に直売所を作つて地産地消を活発にしていってほしい。
- ・湘南しらすの他に魚介類の取り扱いのお店が増えればありがたいです。
- ・藤沢市の地産地消は、北部が野菜類、南部（海岸）が海産物となつていて、南部では野菜類の直売所が少ないと思う。
- ・JAの支店で販売したりして販路を拡大して農家の方のやる気をもつと出せるような環境を整えること。
- ・片瀬漁港では朝市などで魚などを一般の人も買えるようですが、車がないので、鮮度を保つて持ち帰ることや匂いが気になり、買い物に行けません。藤沢市の北部でもとれたてを買えるようになれば良いなと思います。
- ・藤沢市役所のマルシェは平日しかやってないので時間が合う時しか行けない。藤沢の駅前広場か市役所前でも辻堂でやっているような直卖イベントを不定期でも良いので土日に開催してほしい。
- ・地元の新鮮で安くて美味しい物を他の地域の人から、頼まれたりする事もあるので、職場に持つて行く機会がありますが、野菜等は重たいので藤沢市マルシェ的な売場が都内にもあつたら良いかなと思います。
- ・湘南に越してきて、美味しい新鮮な魚介が買える様になるのを期待していたが、ほとんど地産のものを見かけないし、海が近いのに良い魚介が入手できるところが少なすぎて残念に感じている。
- ・無人販売など売っている場所を増やしてほしい。わざわざスーパーに寄らずとも行き帰りの導線上にそういうところがあると気軽に買えます。
- ・直売所は幹線道路沿いであって欲しい。
- ・主要な駅前の店舗に半加工の食品を積極的に卸していただければファミリー層にも訴求できるのではと思います。
- ・藤沢市産の野菜はスーパーの特設コーナーなどで手に入るが、肉類や卵、乳製品はあまり見かけない。生産はされていると思うので、なんらかの形で手に入れられる機会が増えると嬉しい。

- ・私は湘南工科大学で学んでいますが昼食の学食時にそのような地産地消の農水産物などを使った食事を提供すればより良い消費活動ができるのではと思いました。
- ・無人直売所の数を増やした方が良い。小さな直売所 자체を市から提供してあげれば、出品したい農家さんも多いのではないか。
- ・最寄りの駅前、郵便局などの空きスペースを利用して、地元の新鮮、安価な生産物を販売する。
- ・無人販売や土曜、日曜などに地域の自治会館や、旧公民館などで販売したり、駅の通路などの利用も活性化になるのではないかと思います。
- ・地域活性化につながると思うので、駅でも野菜を販売してほしいです。仕事帰りに購入できると嬉しいです。

(5) 利用推進店の充実

- ・藤沢産の食材を使っている、飲食店（チェーン店以外）をアピールする。
- ・地産地消については関心がありますが、なかなか普段意識することがないので、もっと身近に感じられるように飲食店を通してアピールされたらいなと思います。
- ・商店街の食堂は藤沢産を使う。各店舗に使った料理のチラシを置いておく。
- ・飲食店での藤沢産の使用ポイント制
- ・地産地消のレストランやカフェがもっと増えてほしい。

【4 付加価値向上】

(1) 安全・安心

- ・食の安全性を考えると藤沢の地産地消は今後増え重要なテーマとなると思います。
- ・「地産地消」一番いいのではないでしょうか。安全安心（農薬等）で不安もなく相互に取り組むべき信頼感が得られたら、即買い求め続けます。“地元の発展”を願っています。（自分自身の情報の過不足も反省）よろしくお願ひいたします。
- ・自分の住んでいる町で作られている農水産物であれば、安心して口にできると思う。
- ・地元産ということ以上に安心できる食材はありません。
- ・地元の食材を選びたいが、減農薬、無農薬などの表示がない為、現在は食の安全性にこだわったところから購入することが多い。

(2) 新鮮な農水産物の提供

- ・遠くから輸送費をかけて運ぶより、作った地元で消費する方が環境に優しいし、新鮮なものが手に入る所以これからも地産地消に協力したいと思います。
- ・見た目が悪いものは安く、立派に育ったものは多少高くても、地物は新鮮というメリットが大きいように思います。

- ・地元の野菜は JA や他スーパーで好んで買っています。安くはないけど味が良くて何よりも新鮮なので安心して食べられます。これからも藤沢産の新鮮なものの提供を期待しています。
- ・やはり新鮮な野菜が食べたい！
- ・地元産のものなるべく買っています。新鮮で美味しいいただいています。
- ・新鮮で安全な食材が身近なところで購入できるのが安心です。頑張ってお仕事されている農家の方々を応援したいです。輸送にかかる環境に影響にもいいと思います。
- ・地産地消によって地域がより発展していくことを期待するとともに、野菜がおいしく、新鮮で栄養価の高いものを身近に感じられるようにと思います。

【5 農水産業の維持・発展】

- ・お休みしている畠、田んぼが結構あります。農家をやりたい人、土地を持て余している人のマッチングが出来たら良いと思う。
- ・生産者の後継者問題など生産者側が意欲的になれるようにして、生産が絶えないような工夫が必要かと思う。昨今、日本のそういった技術などが海外へ流出している話をテレビなどでもやっていた。危機感を感じている。日本の良いものがなくなってしまわないか・・・。
- ・土壤改善、改良は環境問題への取り組みに通じます。
- ・元気な高齢者のボランティア的な活動で、空いている農地を使って藤沢産のそばや大豆を作る。
- ・地元産野菜を作れる人が高齢で作れない荒れた畠が多くなっている。
- ・直売所の開店がやや減っているし農業生産者の後継問題もあってなかなか難しい。
- ・市外で農業を営んでいたところが流地資採置き場に変わっていたりします。農地が変わっていくのが悲しいです。
- ・生産者（農家）の収益の向上と継続性の安定（後継者）が地産の条件。
- ・農業従事者の高齢化に伴い農業を続けられない状況が進行し、耕作していない農地が増えている。そのような農家への支援・相談・活用方法など推進してほしい。若い人が農業に気安く従事できる制度（緩和策など）等の検討をお願いしたい。
- ・農家が強くなる施策を実行してほしい。農家による経営、販売経路の拡大、EC を使ったワークプレイス、農家が儲かる、人気のある職業にしてほしい。
- ・日本の食料自給率は、カロリーベースで 38%と低い水準にあり、紛争や政治の対立など有事の際に致命的なダメージとなりえる。藤沢市は南部に海があり、北部にはたくさんの畠があることから、完全な地産地消による市内食料自給率 100%（藤沢市の住民が 1 年間に食べる食料量から、農作物の生産量や魚介類の水揚量を試算）を達成させることで、日本の食料自給率を考える上での【モデル都市】となれないだろうか。

・農家が農業を継続できる安定した収入を得られるよう市の財源をどんどん投入してほしい。農機具や肥料などの購入費用を自治体が補助すれば、少なくとも農家の成り手は減りにくいと思います。

・年間の統計データを蓄積して、地産地消率、その向上率など種々の角度で生産者を顕彰し、意欲を高める制度を育てる。

【6 情報発信】

(1) SNS

・市内の学校給食や市民病院の患者の食事、更に市役所や市民病院の社食など（第三セクターや関連施設の食堂）で積極的に藤沢産の食材を使用し、そのことをアピールする。（広報や SNS など）

・藤沢産を食べたり使用したりすることがステータスになるようにインフルエンサーを起用する。

・SNS や動画での発信で若い人にも届きやすくする。

・これからの時代はネット、SNS で検索すればすぐ情報が入手できるという波に乗る必要があるかと思う。

・藤沢市の LINE 作成し、地産地消、市情報の発信をすれば市民への情報も早急に伝えられる。

(2) 広報ふじさわ

・広報宣伝がもっとあってもいいと思う。リピーターで消費されてしまい一般市民の口になかなか入らない。

・地産地消について言葉はよく聞いたり見たりしますが、詳しい条例や計画は知りませんでした。広報を利用して沢山 PR できるといいですね。

・広報は必ず目を通すので、旬のもの、どこで入手できる、レシピ等を掲載すると良いと思います。

・地産地消に関する告知が不足している。広報で情報を増やす。

・「広報ふじさわ」にて宣伝するとともに「どこで買える」まで書いてほしいです。いつだったか買いたいと思ったが、どこで販売しているかわからず「あきらめた」ことがありました。

(3) 求められている情報

・栄養素の表示（カルシウムや Mg 等）があると多少高くても選ぶ人はいるかも？

・藤沢産のものには興味があるがどこで売っているかわからないし、近くに販売所がない。

・地元の生産・販売、価格などの情報を早くタイミング良く、知らせてほしい。

・藤沢市の野菜など扱っている直売所がサイトで載っていると助かる。

・地元の農家の直売所マップを作ってインターネットにのせたりすること。

・高齢の者にとっては、単にインターネットに掲載されていても情報を得ることが難しいので、

生活圏の範囲で情報や地元の農水産物が得られると嬉しいです。

・藤沢市で生産されている野菜や果物の情報がそもそも届かないで、知ることもできないのが悲しいです。もっと買える場所を増やしたり、情報を気軽に入手できるようになってもらいたいです。

・販売場所に加え、種類、価格などの情報を充実させる。“地産地消”の言葉だけでは難しい。

・スーパーで藤沢農家さんの野菜が売られていますが、特に藤沢産のこれがおすすめなどがわかりません。何が特産なのかもっとわかるように宣伝しても良いかと。

・保存の方法とかも教えてもらえるとすごく助かる。余ったものをすぐ使はず傷んでしまってもったいないことが多い多々あり、その反省でなかなか手が出せないことも…

・市役所に行ったときに入り口で見かけますが、どこへ行けば良いか扱っている店がわかりません。何か一覧表みたいのがあるといいです。

・藤沢市の農水産物について一度もセシウムの残留濃度の公表がない。

・直売所マップがあればと思います。

・市役所の直売所のマップはアップデートされていないことが多く、間違った情報があつてもどこに連絡したらいいか分らなかった。

・藤沢産の野菜を（そのほかの食品も）PRしている飲食店なども見かけないので、どこで食べられるのか、購入できるのか、「よく分からぬ」というのが正直な意見です。

・農水産物の直売所のマップや販売所の推しの農水産物の情報が知りたいです。

(4) その他

・藤沢に長年住んでいるが、地産地消についてのPRをあまり聞かない。

・もっと藤沢産をいろんなところでアピールすること。

・地産地消の情報を発信する必要がある。

・どんな農水産物があるのかもっとPRしてほしいと思います。

・PRをもっとやってほしい。

・本気で取り組むのであれば、ありとあらゆる手段を使って地域住民に地産地消のメリットを宣伝すべきだと思う。

・関心がありますが、日常生活では店舗の売り場で目にするくらいです。時間はかかるでしょうが長時間の広報活動を続けてください。

・地産地消の推進活動をしているとは、知りませんでした。全住民に届くようにPRをすべきだと思います。

・移住者なので、「藤沢産のもの」のこだわりは子供のころから住んでいる方々より浅いかもです。藤沢産の野菜他、PRをバンバンして欲しいと思うけど…

・もっと宣伝の方法を考え、目につきやすいようにしてほしい。そうすれば買う気になる。

- ・県外にも発信して分布活動してほしい！交換地域や姉妹都市として交流して活動してほしい。
- ・目に留まれば買うようにしているが、普段目に留まらないのでそこが課題だと思う。特に動物性のものは情報が必要。
- ・ここぞとばかりにふじキュンを多用して PR しても良いかと。
- ・藤沢に住んでいながら意外と地元のことを知らない人が多いと思う…。もう少し広報活動を積極的に行い、地元産の食材等のメリットをどんどん発信していったら良いと思う。
- ・東京から移住しましたが地元の方がよく知っていても、私たちには伝わっていないなと思うことが多いです。情報がもっとよく伝わるといいなと思います。
- ・県外からの移住者ですが藤沢の地のものがどんなものがあるのか、海のイメージしかなく、農産物のことをあまり知りませんし、知る機会もほぼありません。
- ・「地産地消」の言葉もマイナーなイメージで多方面にアピールしたほうが良いと思います。
- ・テレビで藤沢市が取り上げられることが近年多い気がします。その中で地産地消を紹介できたら効果が出るような気がします。
- ・情報は限られた範囲しか知らず、（ネットで公開しているというのにタイムリーに更新されていないのではないか）残念です。
- ・とんとん祭りで絵のコンテストなどの機会もあったので、身近なことから知るチャンスがあるとみんなが意識して地産地消を盛り上げていきやすくなると思います。
- ・「地産地消」の產品の販売を向上するには、まずは情報発信力！「聞く」「見る」「嗅ぐ」の機会を多くすることで関心が増える。
- ・国産は意識しておりましたが湘南産はそれほど意識しておりませんでした。「地元産」をどこで買えばいいのか分からなかったというのもあります。果物など、地元の売店で現地販売しているのをたまに利用することはありますがそれくらいです。ただ、「地産地消」という言葉もありますし、うまくアピールできれば買う人はいると思います。
- ・JA が地元の野菜について PR をしないといけないと思いました。
- ・地産地消だけでなく、農薬や化学肥料、加工品に関しても化学調味料を使わないなど、生産者がどのようなことにこだわって生産されているかという情報をもっと出し、それらがいかに（23）の項目で挙げられたようなメリットにつながっているのか、知らない方は知らないのでもっと知つてもらう工夫をすることで、生産者も消費者も地域にも地球環境にもよい循環を作つていけたらと思います。
- ・まずは藤沢市の特産物の PR 活動の充実が大事だと思う。葉山牛、三崎のまぐろ、高座豚など地域と産物の繋がりがわかるようなブランド戦略、広報活動が必要と思う。
- ・旬の野菜を理解せず、農産物はいつでも有ると言う考え方が蔓延る昨今、簡単に地産地消を訴えるのは難しい。
- ・藤沢産の農水産物を使用した料理や果物などをチラシなどで伝えた方が良いと思う。

・スーパーの野菜売り場などに、藤沢のどこ町の農園で作られたかポップアップしてもらったり、農業体験の情報も一緒に知らせてくれたら身近に感じるし、子供たちも食や自然にもっと興味持ってくれるようになるのかなと思います。

【7 購買欲促進】

(1) 農水産物の価格

- ・地産地消を応援したいですが、藤沢産を購入しようとすると価格が高く、今の物価高だと消極的になりがちです。生産するにも費用が掛かるし仕方ないのはわかりますが、やはりスーパーの安い方を購入してしまいます。
- ・「わいわい市」だけではなく、各スーパーにも地元産が多く並び、またそれが安価に手に入るようであれば、藤沢産を選びます。
- ・新鮮で安く手に入れば販売が伸びるのではと思います。今年の米問題と同様に農家さんの経済と消費者の経済を成り立たせるのは難しい問題ですがよろしくお願ひいたします。
- ・イベントの時に時々売っているがスーパーと比べると高いので買わなかったりする。
- ・販売価格が食品中心スーパーの価格（安売りは別）に近づいてくれると買う気持ちになる。価格に差があまりないなら藤沢産を選びます。（若干高くても…）
- ・野菜や果物はなるべく「わいわい市」やスーパーの地元野菜コーナーで購入することにしています。スーパーにある地元野菜は少々値が張る感じがしています。（新鮮でおいしいのはわかっていますが…）物価高のため手が伸びにくいかと思います。
- ・身近になかなか手に品物が入らないのが残念です。値段が高い。（おいしいが）
- ・昨今、物価高の影響で品質に問題が無ければより安価なものを購入する傾向にあると考えます。
- ・地産地消の野菜など手に取りますが、ほかのものと比べると割高なイメージで毎回買うことは難しいです。
- ・地産地消の商品は取り扱い量が少ないため一般商品よりも高いイメージ。住まいの近くでは湘南モールのスーパーサンワ隣に野菜が売っている（多分周辺の農家の提供だと思います）。
- ・国産であれば鮮度も色形がいいもので、安価なものを選ぶと思う。
- ・地域ブランドとして、価格が高くなると購入しにくくなります。
- ・価格が重要と思います。食品スーパーで藤沢産コーナーを作り、安価で設定してもらえばみんな購入すると思います。
- ・地産地消を積極的にしたいが、価格が割高な気がして購入を躊躇う。
- ・安く地元の農水産物を購入できるように進めてください。
- ・物価高で購入選択の理由はただ一つ。価格です。高ければ継続購入出来ません。
- ・地産地消に興味あるが、買うときは値段と量で判断するので市内産だからという買い方はしていないかも。

- ・流通コストが下がっているのに安価で供給されていないのは何故か？
- ・流通コスト（手間を含む）が高いのではないかと思う。生産者の出荷に係る手間をできるだけなくし、出荷しやすい仕組みを構築してもらいたい。
- ・安くて新鮮であれば利用したいが、必ずしも安くないという印象がある。
- ・地元の生産品果物などおいしくて品質はとても良いと思われますが、価格は高いのではと、もう少し手軽だとうれしいと思います。
- ・安価で新鮮が一番ですが、駅の広場のマルシェや市役所の入り口辺に出ている「こだわり」の野菜は高くて買えません。
- ・スーパーで買う人の一番の評価軸は価格です。地産地消を進めるならば「スーパーで安く売る」が王道だと思います。
- ・農家さんには申し訳ないのですが、もう少し安いとありがたいと思います。
- ・荷造り、発送費がかからずないわりに高い。
- ・あまり、地元野菜など食べる機会はないのですが、たまに直売所で購入し、食べてみるととても美味しいことが多いです。もっと手に入りやすく、安価になれば購入者が増えるかなと思います！頑張ってください！
- ・地産の農水産物を手に取りやすい価格で提供し、認知を広め、通常のものよりも美味しいと感じさせたら良いと思います。物価が全体的に高まっている中で、価格を下げることは難しいと思いますが、地産地消を進めていくためには手に取りやすい価格設定にする必要があるかと思います。
- ・同じ価格なら藤沢産を選ぶが、国産であれば高い方は選びたくない。
- ・現在、JAの直売所をたまに利用するが、価格設定がスーパー等に比べて幾分高く敬遠してしまう。価格設定方法をよく知らないが、生産者のみに任せずっとJAがリードして安価を維持して欲しい。
- ・わいわい市では規模が小さく、価格も量販スーパーより割り高です。
- ・近年食材の値段が上がっているから安く美味しいものを食べたい。
- ・地元の生産物ができるだけ購入したいと思っているが、地元のものが安いわけではない。
- ・あまり地産の商品を見たことが無く、見ても高すぎて購入出来ない。地産池消を勧めるなら手に取りやすくして欲しい。
- ・物価高で、食べ盛りを含む多子家庭のため産地にまでこだわる余裕がない。産地よりも安くてたくさんの農水産物を購入したい。
- ・価格での魅力を感じないなら別に地元産に拘る必要もなく、別の地域の国産の物を選んでしまう。
- ・地元地域ならではのコストメリットが商品に反映されない農水産物については、いくら地産地消を謳っても購入する事はないと思います。それでも地産地消にこだわってる方はお金に余裕のある方だと思います。
- ・物価高だからこそ、それを逆手にとり地産地消で鮮度よく安価で買えるとよい。

・農水産物は食生活に密接につながる食べ物であるがゆえ一般の家庭においては、1番シビアな出費であり経済的な問題が大きく地元であればこそ、安く提供することが重要であると思います。

・農協の直売所でも規格に見合ったものばかり、また八百屋やスーパーで他県、他市のものの方が安価であることが多く、地産地消を心がけても悩んでしまうことが多いです。

(2) 規格外農水産物の販売

・粒の大きさの違い、表面の良し悪しなど規格外のものも購入出来るよう積極的に取り組んではいかがでしょう。

・形にこだわらない消費者もたくさんいます。美味しい地元野菜を無駄にしないように今後もよろしくお願ひします。

・生産者の苦労が伝わってまいりますが、ピーマンも、きゅうりでも形が悪くても美味しさには変わりないですよ。

・もっと無農薬・規格外の商品をスーパーの隅に置いては。土付きの野菜は迷わず購入している。

・農協のわいわい市のように大きさや形、数によって値段が違うのもあったら嬉しい。

・新鮮で安価なら、規格外の野菜や果物等売れると思うのでもっと出荷してもらいたいです。

・スーパーの片隅に地産地消の野菜（きゅうり、なす、トマトなど）少し曲がっている野菜、規格外の野菜をスーパーにもっとたくさん並べてほしいです。

・新鮮で味は変わらないので「規格外」として並べてほしいです。

・大手スーパーに並ばない不揃いな野菜・果物等直売所で購入できたらいいなと思う。

・多少形が悪くても、一般的の野菜、果物と価格競争が出来れば、購買が増えると思うので、そういう取り組みも増やすと良いかと思います。

・野菜のB級品も安くして提供してはいかがでしょうか。

(3) その他

・地元ブランドと評して付加価値をつけたものと通常の別産地の安価なものが並んでいた場合間違いなく安価なものが選ばれやすいと思われるため、地産地消ならではのコストの反映が重要になると考えます。

・買い物をするときはメニューを考えながら買うので、地産のコーナーがあって、おすすめメニューの作り方とかがあると参考しやすいし、購買欲がupするかも。

・消費者が購買したい環境づくりの充実が必要だと思います。

・TVやチラシ他の情報から“食べてみたい”と取り寄せることも多く、そういう情報からの購入はこれから、もっと増えていくのだろうと思う。

- ・物価高騰が長引く中、地産製品の購入がいかにお得か「具体的に可視化して」購入者に知らしめていくべきと思います。
- ・地場産業の発展のためには地産地消は大事だが、地産地消の特異性がない。流通の発展もあり鮮度の良いものも手に入る反面、産地直送の物よりも近所のスーパーの方が質の良いものを置いていたりして、地産 = 良品とはならない。
- ・農家さんへの支援を手厚くし、消費者が購入しやすくなると活気づくと思います。
- ・地元以外（足柄など）や地方（静岡など）の道の駅や農産物直売所に出かける事はありますが、地元産は身近過ぎて余り意識していません。地産地消を推進するには、何か「敢えて買いに行く」魅力を訴求する必要があるように思います。例えば藤沢地産地消券みたいな物を発行・販売して、地産の農産物は多少安く購入可能にするなど。
- ・農水産物の販売所に藤沢産の食材を使った料理がキッチンカーなどで販売され、実際に食べることができれば、さらなる購入意欲につながると思う。
- ・直売所は現金のみの取り扱いだったり、人は多いが店は狭く、子ども連れやベビーカーでの利用が難しいと感じるので、広いスペースでゆっくり生産者のコメントなどを読むことができれば実際に購入しようと思える。
- ・時々近くのわいわい市に行きますが、青物野菜しか見当たらない。地方の直売所に行くとカラフルな野菜を見かけ購入意欲につながります。藤沢の農家は同じような野菜ばかりでなく、多種多様な品種の野菜作りに努力してもらいたい。
- ・地産地消の農産物の付加価値を高め広めることで消費者の購買意欲も高まると思います。
- ・コスト・パフォーマンスを考えてください。
- ・藤沢市は海のもの、山のものとおいしいものがたくさんあると思います。販促活動を工夫して、皆に知らせてほしいです。
- ・新鮮で安全で安価であれば過剰な包装や梱包ではせずにしてもらえると、購入意欲が湧くのではないかと思う。（野菜などは綺麗に洗う必要はない）

【8 その他】

（1）アンケートに関する記述

- ・アンケートを通して地産地消についてより興味を持ちました。積極的に藤沢産のを取り入れたいです。
- ・9月10月11月は、国勢調査に始まり公的年金加入状況等調査や生活習慣調査票、栄養摂取状況調査票、国民健康・栄養調査及び県民健康・栄養調査の実施、職場でも年末調整その他、複数の提出物があり、この時期は忙しかったです。
- ・地産地消推奨をするのであればアンケートを主婦の方々や一人暮らしの方々に聞かれる方が良いかと思いました。（SNSでのインプレッション数稼ぎからの広報もアリかと）
- ・質問事項が多い。

- ・8月に藤沢市に引っ越してきて初めて行政からこのようなアンケートを受け取ったので驚きました。藤沢市が地産地消についてこんなに力を入れているとは知りませんでした。
- ・神奈川県産は目にしますが藤沢産は目にしたことがほんないので、このアンケートをきっかけに自分でも調べてみようと思います。私は他県から引っ越してきましたが、藤沢市というところが非常に気になっています。今回このようなアンケートに参加でき、大変うれしく思います。
- ・知る機会があってよかったです。これからは少しでも気にかけて見たいです。
- ・国産、安さだけに目が向いてしまう私ですが、このアンケートを機会に地産地消を意識するようになりました。
- ・ここ辻堂周辺では大型スーパーが10店舗以上あり、どこで地元のものを買いに行くのか？あつたとしても価格や品揃えで売れるのは限られているだろう。そもそもアンケート先を間違えている。スーパーなどで調べるべき。
- ・地産地消のアンケートをいただいて藤沢産の農水産物について知ることができました。平成21年に制定された藤沢市地産地消の推進に関する条例や藤沢市地産地消推進計画を知らなかったので、条例や計画について知りたいと思います。知ることによって藤沢市地産地消推進の手伝いができるかもしれません。
- ・アンケートを通じて、藤沢産の食料品にもっと目を向けてみたいと思いました。
- ・このアンケートをきっかけに、藤沢の農林水産業発展のため地産地消を意識したいと思いました。
- ・今回アンケートの対象者となったことにより、今後は地元産の農産物を意識して購入していくことを検討したいと思った。
- ・神奈川県産は目にしますが藤沢産は目にしたことがほんないので、このアンケートをきっかけに自分でも調べてみようと思います。

（2）その他

- ・今年の夏は異常な暑さでせっかく作ったものが食べられないものがたくさんできてしまい、生産者の方のご苦労は相当だったと思います。それに負けずに我々消費者に届けよう日々の努力感謝です。
- ・地元の農家さんを応援したいです。
- ・農家の方々が農業を続けられるよう購入で支援できればと思います。
- ・いつも同じところで購入していますが、やはり地元の野菜は美味しいです。生産者の方に感謝しています。
- ・生産者のご苦労を応援したいと思っています。
- ・藤沢に転居しきてから四季折々、その季節のおいしいものが手に入ることがうれしくて（農家の直売所や農協の直売所）いつも楽しみに生活しております。
- ・農協さんのわいわい市によく行きます。おいしい品物たくさんありますね。

- ・わいわい市場には年に 4, 5 回車で行っています！これからクリスマスの花やお正月用の花と一緒に野菜も沢山買います。高座豚も美味しい！卵も新鮮で、卵かけごはん最高です。
- ・わいわい市場に車で出かけ藤沢産の野菜、果物、ハム、ソーセージ、肉、お魚等若いお嫁さんと出かけています。花なども、とても新鮮でこれから冬にかけパンジー、シクラメンの苗を買いに出かけたいと思います。又市役所等に出向いた時等、藤沢産の野菜や果物等出店している時は、買って帰っておいしくいただいております。これからも利用させていただきます。
- ・市役所前で販売されているお野菜をよく買います。無農薬もあり生産者と調理法など教わりながら購入できて嬉しいです。
- ・藤稔がおいしくて大好きです。
- ・藤沢産おいしいです。
- ・鵠沼に引っ越しして 50 年余りおいしい野菜にあい、とても嬉しいです。お魚も朝とりの新鮮ものをいただき日々幸福を感じる思いです。甘くておいしい野菜、減農薬で味がとにかく素晴らしいです。
- ・静岡から移り住んで 17 年になりますが、藤沢市の野菜はおいしく毎日彩りのある食卓を楽しんでいます。地元の野菜も大好きですが、違った種類のものやなじみのないものもたくさんあり、楽しいです。藤沢は果物もまたおいしいので梨やぶどうなどわいわい市や農協に買いに行くのも楽しみです。これからも藤沢産のおいしい農水産物を使って、賑やかな食卓を作っていくうと思います。
- ・JA から直接トマトを箱で買っています。（人を通じて）身近な所から買えるようになれば、広がっていくと思います。一等を取った果物を食べてみたいと思います。
- ・近所のトマト、梨、ブドウの直売所はよく利用します。とても美味しいので、たくさんの方に知りたいです。
- ・藤沢産のトマトなどは本当においしいです。野菜全般とても良い。これからも頑張ってほしいです。家族皆で大ファンです。毎回箱買いしています。
- ・梨、今年も美味しかったです。
- ・神奈川県・藤沢市民特別地元割引や朝市、駅周辺での販売、食材を使った店・ティーアウトなど展開してほしい。
- ・わいわい市藤沢店で販売されているものや、藤沢市内でとれた鮮魚など藤沢産を使ったレストランをわいわい市藤沢店に併設してほしい。
- ・野菜の無料プレゼントはやってほしい。
- ・外国人にも分かりやすくもっと力を入れてほしいです。
- ・わいわい市（藤沢店）で藤沢市産コーナーを作ってほしい！
- ・藤沢には海までまっすぐ延びる道が何本かあり、つきあたりは海シャンゼリゼ通りではないけど海に続く道に店が集まるといいなあ～と思う。
- ・地産地消を進める事は大事だが、大企業や大型スーパーと契約したり販売ルートを拡大しすぎると、今まで身近に購入できていた物が購入しづらくなる可能性があり心配です。「藤沢のものは藤沢で」という事を大前提にこれからもすすめて行って下さると幸いです。

- ・食は命。自然に恵まれている藤沢ですので農水産物への取り組み、大切にしたいと思いました。東京、自由が丘のスーパーには手を当てるに足りているか不足しているかを測れる機械が置いてあり、孫は行くたびに自分で測定しています。そんな機械の上に藤沢の農水産物マップがあれば自然と地産地消の取り組みにも興味が湧くのではと思います。
(素人の一案です。)
- ・最近、藤沢市に引っ越してきたのであまり知らないですが、今後はぜひ藤沢市の農水産物を取り入れていきたいと思います。横須賀にある「すかなごっそ」みたいのがあればすごくいいなと思います。
- ・地産地消にデメリットはないと思います。推進に力を入れてください。および、効率の悪い周知等のチェックもして税金の無駄遣いのないようお願いします。
- ・地域の色が出る店が、観光や移住者も行きやすく地元民にも普段使いできる価格とアクセス、店構えだといい。
- ・ただ藤沢市のものというだけでは文化としてもう一つで、消費側に訴えるだけでなく美味しさの追求等の生産者側の変化も重要であると考えます。あとは地産地消の物品こそ完璧でキレイで形が整っている必要性が低いはずです。無農薬でなくてもいいが、せめて減農薬くらいにはチャレンジしてほしい。
- ・JA わいわい市場を利用したいが水曜が定休日です。その水曜に買い物に行くので月に一度でもいいのでオープンしてほしい。
- ・農産物に関しては、JA が頑張っていると思います。JA の直売所によく行きますがもう少し肉の品揃えを多くしてほしいです。水産品に関しては悲しいくらいだめですね！
- ・藤沢の農産物域は魚介類だとわかるように店側に周知してもらいたい。名札とか。
- ・ふるさと納税を自分の街（藤沢）で使えるようにしていただけると是非 100 万以上の食材を買いたいと思います。
- ・野菜の購入はスーパーが主ですが、平日は近所の無人販売所で購入します。今なら、さといも。夏は茄子が大好きで行くとシャインマスカットや藤稔が並んでいて千円以下で購入できて美味しかったです。土・日は六会のわいわい市に行き野菜、花を購入します。生産者の名前入りさつま芋は多種類あり、全部購入して味比べしています。わいわいは作り手の顔が見える安心した野菜が並んでいて楽しいです。藤沢に大型道の駅を計画中でしたら、渋滞にならない広い駐車場を希望します。
- ・野菜や果物は農薬を使用していないものに取り組んでいる農家が増えるようにしたら藤沢の魅力が上がると思う。
- ・地元のスーパー（ヨークマート）に藤沢産の野菜コーナーがあります。生産者さんが持ってこられると思うのですが、痛みが進んでいるものが平気で並んでいたりして残念に思います。入荷の時期も何もわかりません。スーパーで買えるのは大変良いことだと思いますので、もっと力を入れてほしいです。
- ・「地産地消」を常に意識できる環境を家庭のまんなか」に置く習慣ができるといいね。
- ・「地産地消」だいぶ前から伝われていますが言葉だけで一步も前に出ていない気がします。スローガンだけ知って何をすればいいのかが方針が具体的に見えない。

- ・地産地消の考えは良いと思うが、とりたてて地産地消のために直売所などや情報を増やしても、日々利用している店以外で購入することは地産地消の本来の目的とは言えないと思う。あくまでも（12）（14）を満足する産物をどこでも購入できるよう生産者から消費者までを繋ぐ流通を構築することを目標とすべきである。
- ・地産地消の目的とゴールがどういった観点で評価されているのか、よくわからない。
- ・ネーミングだけでも果物の売れ行きは変わると思います。シャインマスカット、ナガノパープルなど買うが、藤稔がブドウと認識しにくいし、名前で間違いなく損している。
- ・ふるさと納税品としてどれくらい藤沢産のものが選ばれているのだろうか？全国的に選ばれている農産物があればそのことが「地産地消」を促す誘因になるかもしれません。
- ・消費者側目線が不足しているのでは。
- ・栽培する側売る側にも地域と共にという気持ちがあるのだろうか。
- ・同じ意識を持つ人達が多くなると藤沢市の発展に繋がると思う。
- ・市の取り組みが全く見えない。
- ・藤沢産の農水産物？あまり頭に浮かばない。
- ・同じものなら藤沢産を買うが種類が少ない。
- ・地産地消（理解しにくい名付け方だ）
- ・地産地消のというよりは国内自給率を上げるほうが大事。
- ・地産地消に対する住民一人一人の意識の向上を図る施策を増やす必要があると思う。
- ・直接買うよりおいしさや思いをひろえていいと思う。
- ・日常生活の流れの中に‘あたりまえ’のように「そこに地元食材がある」のがいいと思う。
- ・‘わいわい市’が大好きだったのですが、行かれなくなってしまったので、今はスーパーの農家さんが出しているコーナーで野菜を買っています。旬のものが安く買えるし、安心でおいしい。スーパーの商品とは全然違います。
- ・藤沢産のお花ってなんだろう？でした。知らなかったです。お米やお花、私の中でピンときませんでした。
- ・地産地消の条例が制定されている事も知りませんでしたが多くの商品が並ぶスーパーで藤沢産の農水産品を選びなくなるような強味作戦を教えてください。不揃い商品も少し安く売ったり、学校給食、各施設の食堂などで利用し、無駄なく使うことはとてもいいことだと思います。大阪に住んでた時、隣の和歌山に大きな市場があり春は桃、夏はスイカ秋は柿、冬はミカンなどを目玉に四季の花、野菜を市場より安くお買い得で楽しんでいました。また、水産物もとれとれ市場など魚が安く買えたり、土日は焼き魚や貝を焼いて昼食ができるたりする市場がありました。
- ・虫もつかない程きれいな野菜に驚くときがあります。虫もつかない消毒がされているんだろう…本当に基準値に合った消毒がされているのだろうか…疑問に思う時があります。
- ・「地産地消」に対するこだわりは特になし。

- ・近年の物価高で、お米の値段が上がったり、食料品全体の値段が上がる中で、正直なところ「地産地消」を意識する余裕がありません。
- ・近頃高齢になり品物が不便になりました。悲しいです。足が不自由なりました。
- ・旅行で観光地に行った際にその土地のものを食べるという感覚はあったが、地元藤沢で藤沢のものを食する感覚はあまりなかった。同居する親は買ってくるが自分が買い物で藤沢産のものを意識して購入する機会はあまりなかった。
- ・全国的に仕事で出かけていますが、地産地消で頭に浮かぶのは各地の道の駅の常設の販売コーナーです。
- ・藤沢産の商品を藤沢市民だけで消費するわけにはいきませんよね。遠い九州や北海道からの野菜や果物を売り場で見ると少しがっかりします。せめて県内、関東県ならと思います。山と海に囲まれている藤沢のいいところがもっと消費できるのが理想ですが藤沢で生産された農水産物は県外にも出荷されるのですからね。冬の野菜の多くを藤沢産で食卓に使用・利用できれば幸せです。
- ・具体的に何を買えばいいの、応援はします。
- ・3.11 東日本大震災の時は、福島に住む姉の娘一家（夫婦・子供4人）が大庭に1月程避難していました。福島に帰った後も現地の話を聞くとキャベツの葉1枚でも5~6回洗う。（その水の水源地も汚染されているという噂）4ヶ月~7才までの子供たちのため六会のニコニコ市場で段ボール（大）2つの野菜を購入し毎週送っていました。2年程続けましたが子供たちが宅急便が届くと「藤沢の野菜だ！」とそのまま食べだすとか。カリフラワーの変種の「ロマネスク」が全員好きなので、シーズンには毎回2つは入れてました。「食べても大丈夫？不安」の時に少しでもストレスを減らしていたらいな、と今でも思います。
- ・藤沢の地のものがどんなものがあるのか、海のイメージしかなく、農産物のことをあまり知りませんし、知る機会もほぼありません。地域の中にいくつか市場もありますが積極的に行こうと思えません。休日に道路が混むためどうしても近くのスーパーで食材調達を済まそうと考えてしまいます。
- ・高齢になり、行動範囲が狭くなっているため、積極的な協力をできなくなっています。
- ・今まで藤沢の地産地消について知らなかった。
- ・湘南ハマグリなど見てみると辻堂の販売所は不定期のような営業に見受けられるし、赤い旗の立つ飲食店もこの季節見つけるのが難しい。
- ・年に1~2回何かのイベントに参加しているぐらいでほとんど定期的でない。以前茅ヶ崎に住んでいたが定期的に月2回地産地消の店がオープンしていて（会場無料で貸しているため）人気があり、よく参加していろいろと買い求めた経験があったが、ここはスーパーだけでも数店あるのでやはり会場を探すのも、金銭的にも無理というかかなり大変なのかもしれない。それに世話人がいないとなかなか無理な気がする。会場を無料で貸す人物がいないとなかなかやれないのかもしれない。
- ・僕は湘南学園小学校の藤沢野菜に携わることになる発起人でした。始めは教室のベランダで市販の野菜を育てることをしていたら、どうせなら地元藤沢の野菜を育てようとなり、善行駅前にある808という藤沢野菜を知ることから始まり育てるに至りました。「どうやったら土地を借りられるだろう？」という壁に当たり僕の藤沢市長に手紙を出してみてはどうだろうかという案が採用され、今はどうなってるかは

知りませんが、藤沢野菜を育て、T サイトで直売するところまで発展しました。今じゃ、湘南スタイルで当時の学年主任がいかにも自分が考案したみたいに書いていますが・・・だから僕の藤沢野菜に対する気持ちは同世代の中では人一倍強いです。

- ・家庭菜園野菜、近くの漁師さんの水揚げしたばかりの魚介類で育った私には？が付く野菜、魚介類が多いのは驚くばかり。選ぶのが一苦労。老境に入って遠くへ気軽に買いに行けなくなってきたら、昨今ますます不安感がつのるばかりです。特に若者たちの将来の健康が危惧されます。
- ・みんなで協力しあい、藤沢を盛り上げたいと思います。また農家の方に感謝を忘れずに生活したいと思います。
- ・地産地消が掛け声だけでなく、推進できるように皆で取り組んでいけると良いと思います。
- ・地産地消大いに賛成です。頑張ってほしく思います。
- ・収穫体験地域で生産された藤沢産は新鮮で安心でき、地域の活性につながり、つまり藤沢愛ですね！
- ・国産品にはこだわりますが、藤沢産にはこだわりませんでした。これからはちょっと注意して買い物したいです。少しでも藤沢産に貢献したいと思います。
- ・地産地消が掛け声だけでなく、推進できるように皆で取り組んでいけると良いと思います。
- ・地域、農業、漁業の活性化のため、今後も地産地消に努めていきたい。
- ・農家の人たちが作る喜びの持てるよう市民や市役所の方たちで応援できるようなるべく意識して買うようにしたいと思います。
- ・地産地消は、理想的な売買だと思う。私たち消費者は地元を盛り上げたいと思っています。
- ・藤沢市が、明るく活気に満ち、老若男女すべての人が住みやすい町であり続けて欲しいと思っています。地産地消がそのパワーの一つとなりますように。今回のアンケートを一つの気づきとして、心がけていこうと思います。
- ・藤沢市に転居してから、近場に農協直売所や八百屋、農家での野菜販売もあり、地産地消をより意識するようになった。
- ・地産地消を藤沢市が推奨してる事実すら知りませんでした。これを機に藤沢産の野菜、たくさん食べてみたいと思いました。
- ・これからも意識して藤沢さんのものを買いたいとおもいます。
- ・地産地消という言葉を初めて知り、これから勉強をしていきたいと思います。
- ・地域の活性化に繋がればより良くなると思う。
- ・地産地消という“言葉”はなんとなく知っていましたがあまり関心がありませんでした。スーパー等で野菜なども見かけると子供が住んでいる茨城、群馬産と書いてあると手が出ます。これからは地産地消、考えに入れたいと思います。
- ・値段だけをみるとつい安いものを選びがちですが、結果的に満足度が高いのは藤沢産。地域の方たちの温かさも伝わってくるように思います。今後も地産地消に積極的に関わっていきたいです。

- ・出身地の農産物、藤沢の地産地消を考え日々頃買い求めております。より良い地産地消の推進を祈り上げます。
- ・私の実家のほうも地産地消に積極的で直売所も多く、その生産した方の名前や顔写真を貼り、この方のキュウリです。トマトです。キヤベツです。など皆様に安心して購入して地域を盛り上げる活動が多く、遠方からも買いに来てくれます。父が農業（兼業）でやっていたのもあり今後は応援したいと思います。
- ・実家が農家のため、幼いころから藤沢産の食べ物はたくさん食べてきました。大人になり、自分でスーパー等で食材を買い、料理をしていると地元産のおいしさを痛感しています。食べ物だけではなく花苗などもホームセンターで買うものより、直売で手に入れたものの方が、強く立派な花を咲かせ長く楽しめます。値段だけをみるとつい安いものを選びがちですが、結果的に満足度が高いのは藤沢産。地域の方たちの温かさも伝わってくるように思います。今後も地産地消に積極的に関わっていきたいです。
- ・他国商品には申し訳ないがやはり購入時に必ず「国産」を選ぶ。この地に暮らし、この地域の食材についてこれからはより気にかけるようにしたいと思う。
- ・行政は若い人たちの新鮮な威勢を取り入れて、若い感覚の「地産地消」を目指していただきたい。期待しています。
- ・本来食物は地産地消が何よりと思う。とくに藤沢は、海に近く温暖な気候もあいまって、種類多く、味のいいものに恵まれていると期待する。
- ・最近、引っ越してきましたが藤沢は住みやすくて心地よい街だと思います。食の安全や自給率向上に興味があるのと自分の住んでいる土地のおいしいものを自慢したいので、このような取り組みがもっと発展すると良いと思います。